

国 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	国語 101・102 201・202 301・302 401・402 501 601	B 5 1,992	平成31年
11	学校図書	学 図◆	国語 103・104 203・204 303・304 403・404 503・504 603・604	B 5 1,844	
17	教育出版	教 出◆	国語 105・106 205・206 305・306 405・406 505・506 605・606	B 5 1,992	
38	光村図書	光 村◆	国語 107・108 207・208 307・308 407・408 507 607	B 5 1,848	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者
44冊	東書、学図、教出、光村

2 学習指導要領における教科・学年の目標等

【国語科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学年の目標】

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
表現力等 思考力、判断力、	(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
人間性等 学びに向かう力、	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【参考：小学校学習指導要領解説 国語編「第1章 総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点」から（抜粋）】

(2) 学習内容の改善・充実

① 語彙指導の改善・充実

中央教育審議会答申において、＜略＞語彙は、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となる言語能力を支える重要な要素である。このため、語彙を豊かにする指導の改善・充実を図っている。

語彙を豊かにするとは、自分の語彙を量と質の両面から充実させることである。具体的には、意味を理解している語句の数を増やすだけでなく、話や文章の中で使いこなせる語句を増やすとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化などへの理解を通して、語句の意味や使い方に対する認識を深め、語彙の質を高めることである。このことを踏まえ、各学年において、指導の重点となる語句のまとまりを示すとともに、語句への理解を深める指導事項を系統化して示した。

② 情報の扱い方に関する指導の改善・充実

急速に情報化が進展する社会において、様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり、情報同士の関係を分かりやすく整理したり、発信したい情報を様々な手段で表現したりすることが求められている。

話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりすることが、話や文章を正確に理解することにつながり、また、自分のもつ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすることが、話や文章で適切に表現することにつながるため、このような情報の扱い方に関する「知識及び技能」は国語科において育成すべき重要な資質・能力の一つである。

③ 学習過程の明確化、「考えの形成」の重視

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けた。

また、全ての領域において、自分の考えを形成する学習過程を重視し、「考えの形成」に関する指導事項を位置付けた。

④ 我が国の言語文化に関する指導の改善・充実

「伝統的な言語文化」、「言葉の由来や変化」、「書写」、「読書」に関する指導事項を「我が国の言語文化に関する事項」として整理するとともに、第1学年及び第2学年の新しい内容として、言葉の豊かさに関する指導事項を追加するなど、その内容の改善を図った。

⑤ 漢字指導の改善・充実

都道府県名に用いる漢字20字を「学年別漢字配当表」の第4学年に加えるとともに、児童の学習負担に配慮し、第4学年、第5学年、第6学年の配当漢字及び字数の変更を行った。

(3) 学習の系統性の重視

国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年につながっていくとともに、螺旋的・反復的に繰り返しながら学習し、資質・能力の定着を図ることを基本としている。このため、小・中学校を通じて、〔知識及び技能〕の指導事項及び〔思考力、判断力、表現力等〕の指導事項と言語活動例のそれぞれにおいて、重点を置くべき指導内容を明確にし、その系統化を図った。

(4) 授業改善のための言語活動の創意工夫

〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域において、どのような資質・能力を育成するかを(1)の指導事項に示し、どのような言語活動を通して資質・能力を育成するかを(2)の言語活動例に示すという関係を明確にするとともに、各学校の創意工夫により授業改善が行われるようにする観点から、従前に示していた言語活動例を言語活動の種類ごとにまとめた形で示した。

(5) 読書指導の改善・充実

各学年において、国語科の学習が読書活動に結び付くよう〔知識及び技能〕に「読書」に関する指導事項を位置付けるとともに、「読むこと」の領域では、学校図書館などを利用して様々な本などから情報を得て活用する言語活動例を示した。

【参考：小学校学習指導要領解説 国語編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い 3 教材についての配慮事項」から（抜粋）】

3 教材については、次の事項に留意するものとする。

- (1) 教材は、第2の各学年の目標及び内容に示す資質・能力を偏りなく養うことや読書に親しむ態度の育成を通して読書習慣を形成することをねらいとし、児童の発達の段階に即して適切な話題や題材を精選して調和的に取り上げること。また、第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。
- (2) 教材は、次のような観点に配慮して取り上げること。
 - ア 国語に対する関心を高め、国語を尊重する態度を育てるのに役立つこと。
 - イ 伝え合う力、思考力や想像力及び言語感覚を養うのに役立つこと。
 - ウ 公正かつ適切に判断する能力や態度を育てるのに役立つこと。
 - エ 科学的、論理的に物事を捉え考察し、視野を広げるのに役立つこと。
 - オ 生活を明るくし、強く正しく生きる意志を育てるのに役立つこと。
 - カ 生命を尊重し、他人を思いやる心を育てるのに役立つこと。
 - キ 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てるのに役立つこと。

- ク 我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を育てるのに役立つこと。
- ケ 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家、社会の発展を願う態度を育てるのに役立つこと。
- コ 世界の風土や文化などを理解し、国際調和の精神を養うのに役立つこと。
- (3) 第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の形態を調和的に取り扱うこと。また、説明的な文章については、適宜、図表や写真などを含むものを取り上げること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査研究事項（調査研究の対象）	対象の根拠（目標等）	数値データの単位
a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている箇所	学年の目標(1)	箇所
b 〔思考力、判断力、表現力等〕における3領域ごとの主な単元数	教科の目標 小学校学習指導要領解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節国語科の内容 1」	個
c 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元数	学年の目標(2) 小学校学習指導要領解説国語編「第2章 国語科の目標及び内容 第2節国語科の内容 3」	個
d 〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」の言語活動別の主な単元数		個
e 〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」の文種別作品数	学年の目標(2)	個
f 発展的な内容を取り上げている箇所	小学校学習指導要領第1章総則	箇所

イ 調査項目の具体的な内容

① 教科書の特徴をより明確にするため、具体的に調査研究する事項

- a 〔知識及び技能〕の内容を取り上げている箇所の名称（調査結果は「別紙2」）
言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項の内容を取り上げている箇所の名称
- c 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名（調査結果は「別紙2-2」）
- ・ 説明・報告等（例：説明や報告など調べたことを話したり、それらを聞いたりする活動）
 - ・ 質問・インタビュー等（例：質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりする活動）
 - ・ 少人数・学級全体での話し合い等（例：互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動）
- d 〔思考力、判断力、表現力等〕「書くこと」の言語活動別の主な単元名（調査結果は「別紙2-2」）
- ・ 説明的な文章を書く（調べたことを報告する・意見を述べる等）
 - ・ 実用的な文章を書く（日記、手紙や案内等）
 - ・ 文学的な文章を書く（短歌・俳句・詩・物語・随筆等）
- e 〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」の文種別作品名と筆者名（調査結果は「別紙2-2」）
- ・ 説明的な文章
 - ・ 文学的な文章
 - ・ 詩歌（詩・短歌・俳句）
 - ・ （古典）（漢詩・漢文を含む）
- f 発展的な内容を取り上げている箇所の名称
<その他>
- *1 神話や伝承を知り、日本文化や伝統に関心をもたせる資料（調査結果は「別紙2-3」）
- *2 北朝鮮による拉致問題の扱い

② 調査対象事項を設定した理由等

- ・ 小学校学習指導要領解説国語編「第1章総説 2 国語科の改訂の趣旨及び要点(1) 目標及び内容の構成」にある、三つの柱に沿った資質・能力の整理を踏まえ、構成し直した〔知識及び技能〕及び〔思考力、判断力、表現力等〕に基づいて調査することとした。(a、b、c、d、e)
- ・ 小学校学習指導要領解説国語編「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」の3「教材についての配慮事項」では、「第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「A話すこと」、「B書くこと」及び「C読むこと」のそれぞれの(2)に掲げる言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。」とあることから、言語活動別に整理して調査を行うこととした。(c、d)
- ・ 同様に、「第2の各学年の内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C読むこと」の教材については、各学年で説明的な文章や文学的な文章などの文章の種類を調和的に取り扱うこと。」とあることから、文種別に調査を行うこととした。(e)
- ・ 発展的な内容については、小学校学習指導要領第1章総則「第2 教育課程の編成 3教育課程の編成における共通事項 (1) 内容等の取扱い イ」において、「学校において特に必要がある場合には、第2章以下に示していない内容を加えて指導することができる。」と示されている。また、「(3) 指導計画の作成等に当たっての配慮事項 イ」では、「各教科等及び各学年相互間の関連を図り、系統的、発展的な指導ができるようにすること。」と示されている。

そのため、教科書に発展的な内容として明記されている主な単元の数について調査することとした。(f)

<その他>

- ・ 学習指導要領では、第6学年の歴史学習で、大和朝廷による国土統一の様子を学習するに当たって、神話・伝承を調べ、国の形成に関する考え方などに関心をもつことを求めているため、神話・伝承の中から、国の形成に関する考え方などについて、児童に興味や関心をもたせることのできる資料について調査する。(*1)
- ・ 東京都教育委員会は、教育目標の基本方針1として「人権尊重の精神と社会貢献の精神の育成」を掲げ人権教育を推進してきた観点から、児童・生徒が人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、北朝鮮による拉致問題の扱いについて、調査する。(*2)

③ 調査研究の方法(a～fの分野に分類する。)

a 〔知識及び技能〕別の主な単元について整理する。

b 〔思考力、判断力、表現力等〕における3領域ごとの単元について整理する。

c,d 〔思考力、判断力、表現力等〕「話すこと・聞くこと」及び「書くこと」の言語活動別に分類した主な単元について整理する。

e 〔思考力、判断力、表現力等〕「読むこと」について、説明的な文章、文学的な文章、詩歌等、古典の文種別に作品名と筆者名を整理する。

f 発展的な内容については、義務教育諸学校教科用図書検定基準第2章2(16)に基づき、発展的な学習内容以外のものと区別して、発展的な学習内容であることが明示されているものを整理する。

< 調査の結果、f については記載の無いことを確認した。 >

<その他>

*1 神話や伝承について取り上げている記述の概要を調査する。

*2 北朝鮮による拉致問題について取り上げている記述の概要を調査する。

< 調査の結果、*2 については記載の無いことを確認した。 >

(2) 構成上の工夫(調査結果は「別紙3」)

以下の観点について、記載する。

ア 巻末資料

イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫

ウ ユニバーサルデザインの視点

エ デジタルコンテンツの扱い

オ その他

「別紙1」【(1)内容ア 調査研究の総括表】(小学校 国語)

項目	a. [知識及び技能の内容を高め、言語表現の力を伸ばしている箇所]			b. [思考力、判断力、表現力等]における3領域ごとの主な単元数			c. [思考力、判断力、表現力等]「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元数			d. [思考力、判断力、表現力等]「書くこと」の言語活動別の主な単元数				e. [思考力、判断力、表現力等]「読むこと」の文種別作品数					f. 発展的な内容を取り上げている箇所	
	言語表現の特色や使い方に 関する事項	言語表現の特色や使い方に 関する事項	言語表現の特色や使い方に 関する事項	話すこと・聞くこと	読むこと	計	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等	計	報説 告する ・意見 を述べ る等(調 べたこと を)	実 用 的 な 文 章 を 書 く (日 記 、 手 紙 や 等)	詩 文 ・ 字 物 語 ・ 随 筆 等 (短 歌 ・ 俳 句 ・)	文 学 的 な 文 章	詩 歌 (詩)	詩 歌 (俳 句 ・ 短 歌)	(古 典) (漢 詩 ・ 漢 文 を 含 む)	計		
発行者																				
東書	127			32	40	71	143	16	4	12	28	4	8	34	32	36	54	12	168	0
学図	107			36	54	68	158	22	5	9	31	10	13	35	28	39	53	3	158	0
教出	107			37	44	70	151	15	8	14	28	8	8	26	30	38	35	12	141	0
光村	139			32	34	71	137	11	5	16	22	6	6	34	34	65	61	9	203	0
平均値	120.0			34.3	43.0	70.0	147.3	16.0	5.5	12.8	27.3	7.0	8.8	32.3	31.0	44.5	50.8	9.0	167.5	0

※「別紙1」に、巻末資料(付録等)や別冊に掲載されているものは数に含めていない。

表中の平均値は、項目ごとの各発行者の平均を小数第二位で四捨五入した値を示している。

b、c、dは各領域の言語活動別の主な単元の数を示している。

eは文種別作品数を示している。なお、文学的な文章(昔話)、詩歌等の詩、俳句・短歌、古典、漢詩・漢文の数は、「別紙2」の「知識及び技能の内容別の主な単元」の単元で扱っている作品も含めた数を示している。

fは教科書に「発展」の表記がある単元又は資料の数を示している。

「別紙2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 東書】(小学校 国語)

学年		a [知識及び技能]の内容を取り上げている箇所の名称		
		(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項	
		(3)我が国の言語文化に関する事項		
教材名				
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「や」のつくじ ・ぶんをつくらう ・はをつかおう ・ををつかおう ・ちいさいっ ・ことばあそび 	<ul style="list-style-type: none"> ・のぼす おん ・ちいさいやゆよ ・かぞえうた ・としよかんは どんな ところ ・かんじの はなし ・かたかなを かこう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほんは ともだち ・よう日と 日づけ ・まとめて よぶ ことば ・ことばで あそぼう ・むかしばなしを たのしもう ・かたかなの かたち 	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばを あつめよう ・かたちの にて いる かん字
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・くごの ノートの つくりかた ・とよかんへ 行こう ・かん字の 書き方 ・丸(。)、点(。)、かぎ(「」) ・かたかなで 書くことば ・言いつたえられて いる お話を 知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・本は 友だち ・きせつの 足音 ・ほんたいの いみの ことば ・生活の中の ことば ・にたい いみの ことば ・ことばあつめ 学校にあるもの 	<ul style="list-style-type: none"> ・本で しらべよう ・主語と じゆつ語 ・なかまに なる ことば ・ことばあつめ みぢかな人がすること ・おくりがなに 気を つけよう ・きせつの 足音 	<ul style="list-style-type: none"> ・声に 出して みよう ・おはあちゃんに 聞いたよ ・ことばを 広げよう ・組み合わせた ことば
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語のノートの作り方 ・図書館へ行こう ・国語じてんの使い方 ・漢字の表す意味 ・そあと言葉 ・メモの取り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字① ・慣用句を使おう ・本は友だちきせつの足音 ・生活の中の言葉 ・くわく表す言葉 ・ことばあつめ 人物の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次やさくいんを活用しよう ・ローマ字② ・あて名の書き方 ・漢字の読み方 ・ことばあつめ 人物の行動と気持ち ・図や表を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・きせつの足音 ・俳句に親しむ ・言葉でつたえ合う ・漢字の組み立てと意味
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語のノートの作り方 ・図書館へ行こう ・漢字字典の使い方 ・メモの取り方 ・伝わりやすい文 ・ことわざと故事成語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字の書き方 ・本は友達 ・季節の足音 ・生活の中の言葉 ・文の組み立てと修飾語 ・ことばあつめ 物事の様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に合わせて調べよう ・つなぐ言葉の働き ・文末の書き方 ・じゆく語の意味を考える ・ことばあつめ 人物のせいやくや行動 ・季節の足音 	<ul style="list-style-type: none"> ・百人一首の世界 ・言葉で考えを伝える ・同じ読み方の漢字 ・都道府県の漢字 ・キーボードの入力と漢字
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語のノートの作り方 ・図書館へ行こう ・漢字の成り立ち ・文の組み立てをとらえよう ・ことばあつめ つなぐ言葉 ・本は友達 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の足音 ・生活の中の言葉 ・敬語の使い方 ・古文に親しむ ・さまざまな資料を活用しよう ・和語、漢語、外来語 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉 ・文章の種類 ・季節の足音 ・古文のえがく四季 ・熟語を使おう ・ことばあつめ 比べるとききの表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と外国語 ・方言と共通語
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語ノートの作り方 ・図書館へ行こう ・さまざまな熟語 ・複合語 ・ことばあつめ 思考に関わる言葉 ・本は友達 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の足音 ・生活の中の言葉 ・場に応じた言葉づかい ・言葉は変わる ・漢文に親しむ ・日本の文字 	<ul style="list-style-type: none"> ・文と文のつながり ・情報を活用するときの気をつけよう ・目的や意図に応じた書き方 ・季節の足音 ・いにしえの言葉に学ぶ ・表現をくふうする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばあつめ 原因と結果 ・言葉の学習をふり返る

「別紙2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 学図】(小学校 国語)

学年		a [知識及び技能]の内容を取り上げている箇所の名称		
		(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	(2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項	
		教材名		
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・「や」のつくじ ・ことばあそび ・にているじ ・つまるおん ・のばすおん ・かるたをつくらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちいさい や・ゆ・よ ・は・を・へ ・ほんを よもう ・たのしく かぞえよう ・かんじで かこう ・かたかなを みつけよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・かんじの できかた ・むかしばなしを よもう ・おはなしが いっぱい ・ずかんと つかって しらべよう ・文のかたち ・かたかな 	<ul style="list-style-type: none"> ・日づけと よう日 ・よみやすくすくのために ・どくよびじゆつかんをつくらう ・まとめて よぶ ことば ・ひつじゆんと いて いる かん字
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・かん字の 画 ・主語と 述語 ・ずかんと つかって まとめよう ・かん字の でき方 ・音や よやすを あらわす ことば ・くわしくあらわすことば・さしめすことば 	<ul style="list-style-type: none"> ・声に出してたしかめよう ・むかしのものがたりをたのしもう ・文のおしまいのひょうげん ・本の「おひ」を作らう ・なかまのことば ・二つのかん字でできたことば 	<ul style="list-style-type: none"> ・させつのためより はる ・させつのためより なつ ・させつのためより あき ・させつのためより ふゆ 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立て(部首) ・漢字のでき方 ・ローマ字(下) ・させつのためより 春 ・させつのためより 夏 ・させつのためより 秋
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語じてんの使い方 ・「百科事典」を引いて調べよう ・俳句 ・音読み・訓読み・送りがな ・いろいろな見方で分類しよう ・しゅうしよく語 	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字(上) ・言葉と言葉のつながりを楽しもう ・慣用句 ・こそあど言葉 ・言葉のなま分け ・本のポップを作らう 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立て(部首) ・漢字のでき方 ・ローマ字(下) ・させつのためより 春 ・させつのためより 夏 ・させつのためより 秋 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立て(部首) ・漢字のでき方 ・ローマ字(下) ・させつのためより 春 ・させつのためより 夏 ・させつのためより 秋
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字辞典の使い方 ・「百科事典」を使って、調べることを決めよう ・自分の意見を組み立てて説明しよう ・接續語 ・漢字のいろいろな読み方・送りがな ・短歌 	<ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせさせた言葉のイメージを楽しもう ・ことわざ・故事成語 ・熟語の組み合わせと読み方 ・日本各地の短歌 ・生活の中に生きている読書 ・形が変わる言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・類義語 ・季節のためより 春 ・季節のためより 夏 ・季節のためより 秋 ・季節のためより 冬 	<ul style="list-style-type: none"> ・類義語 ・季節のためより 春 ・季節のためより 夏 ・季節のためより 秋 ・季節のためより 冬
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・文の構造 ・和語・漢語・外来語 ・「年鑑」を使って調べよう ・複合語 ・敬語 ・宇治拾遺物語 	<ul style="list-style-type: none"> ・方言と共通語 ・「入れかえ文」を作って楽しもう ・動作の状態や意味をくわしくする言葉 ・読書を広げよう ・文語詩 ・漢字の音読みと訓読み 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文字の歴史 ・季節のためより 春 ・季節のためより 夏 ・季節のためより 秋 ・季節のためより 冬 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文字の歴史 ・季節のためより 春 ・季節のためより 夏 ・季節のためより 秋 ・季節のためより 冬
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・前後のつながりを示す言葉 ・漢字の成り立ち ・経験や知識をもとに導き出そう ・文末の表現(上) ・言葉づかいのちがいがい ・イメージを短い詩にしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・狂言 盆山 ・熟語の構成 ・本は心の通しるべ ・意味をそろえる言葉 ・言葉は変わる ・季節のためより 春 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のためより 夏 ・季節のためより 秋 ・季節のためより 冬 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節のためより 夏 ・季節のためより 秋 ・季節のためより 冬

「別紙2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教出】(小学校 国語)

学年	a [知識及び技能]の内容を取り上げている箇所の名称 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項		
	教材名		
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> かき、かざ ことばをあつめよう ねこ、ねっこ ほんをよもう ことばをつなごう ごじゅうおん 	<ul style="list-style-type: none"> のぼす おん しゃ、しゅ、しょ は、を、へ とよかん へいごう かたかなのことば かん字の はじまり 	<ul style="list-style-type: none"> 「おはなしどうぶつえん」をつくって、本を しょうかいしよう 文を つくろう かわる よみかた ことばで つたえよう にている かん字 しりとり であそぼう
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> 画と 書きじゆん 「言葉あそび」を しよう かたかなで 書く言葉 図書館で 本をさがそう なかまの 言葉と 漢字 うれしく なる 言葉 	<ul style="list-style-type: none"> いなばの しろさざ 「言葉のなまがしゲーム」を しよう 二つの漢字で できている言葉 はんだいのいみの言葉、にだいの言葉 「お話しじゆつかん」を作ろう 漢字のつかい方と読み方 	<ul style="list-style-type: none"> むかしのあそび 主語としゆつ語 同じ読み方の漢字 音や様子をあらわす言葉 組み合わせてできている漢字
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 国語辞典の引き方 漢字学習ノート 排句に親しむ 本で調べよう 漢字の音と訓 させつ言葉を集めよう 	<ul style="list-style-type: none"> 送りがな ローマ字 ローマ字とコンピュータ 気持ちを つたえる話し方・聞き方 へんごづくり 「おすすすめ図書カード」を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> こそあど言葉 ことわざ・慣用句 文の組み立て 漢字の組み立て 十二支と月のよび名 二つの漢字の組み合わせ
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の部首 分類をもとに本を見つけよう 漢字辞典の引き方 短歌の世界 漢字の音を表す部分 送りがなのつけ方 	<ul style="list-style-type: none"> 修飾語 「月」のつく言葉 「読書発表会」をしよう 言葉が表す感じ、言葉から受ける感じ いろいろな意味を表す漢字 二つのことがらをつなぐ 	<ul style="list-style-type: none"> 故事成語 熟語のでき方 点(・)を打つところ 書 同じ読み方の漢字の使い分け
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習ノート 話し言葉と書き言葉 漢文に親しむ 敬語 複合語 鳥 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の構成 方言と共通語 「古典」を楽しむ かなつかいで気をつけること 漢字の成り立ち 「図書すいせいせん会」をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉で伝える、心で伝える 和語・漢語・外来語 同じ音の漢字 送りがなのさまじり
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> 春はあけぼの 三字以上の熟語の構成 主語と述語の対応をみる 兩 世代による言葉のちがいをみる 敬意の意味をもつ漢字 	<ul style="list-style-type: none"> 「知恵の言葉」を集めよう 空語を広げる 熟語の使い分け 言葉は時代とともに 言を表す部分 敬意を表す言い方 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ訓をもつ漢字 日本語の文字 さまざま読み方

「別紙2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 光村】(小学校 国語)

学年	a [知識及び技能]の内容を取り上げている箇所の名称		
	(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2)情報の扱い方にに関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項
	教材名		
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・たのしいな、ことばあそび ・としかんへ いこう ・かきと かぎ ・ぶんをつくろう ・ねことねっこ ・おばさんとおばあさん ・おもちゃとおもちや 	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばをたのしもう ・かん字のほなし ・かたかなを かこう ・むかしほなしをよもう ・もの名まえ ・きいてたのしもう ・日づけと よう日 	<ul style="list-style-type: none"> ・たのしいな、ことばあそび ・かたかなの かたち ・ことばを見つけよう ・たのしいな、ことばあそび ・にて いる かん字
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・お気に入りの本をしようかいしよう ・ことばあそびをしよう ・なかまのことばとかん字 ・主語と述語に気をつけよう ・かん字の読み方 ・かたかなで書くことば 	<ul style="list-style-type: none"> ・せかいーの話 ・にたいみのことば、ほんたいのいみのことば ・本でのしらべ方 ・よすをあらわすことば ・カンジーはかせの穴はつめい ・ことばを楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・きせつのことば 春 ・きせつのことば 夏 ・きせつのことば 秋 ・きせつのことば 冬
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・分ける・くらべる(上) ・図書館たんていだん ・国語辞典を使おう ・漢字の音と訓 ・全体と中心 ・俳句を楽しもう 	<ul style="list-style-type: none"> ・修飾語を使って書こう ・科学読み物での調べ方 ・ことわざ・故事成語 ・漢字の意味 ・短歌を楽しもう ・カンジーはかせの音訓かるた 	<ul style="list-style-type: none"> ・つたわる言葉で表そう ・コンピュータのローマ字入力 ・きせつのことば 春 ・きせつのことば 夏 ・きせつのことば 秋 ・きせつのことば 冬
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・分ける・くらべる(上) ・図書館の達人になろう ・漢字の組み立て ・漢字辞典の使い方 ・考えど例 ・カンジーはかせの都道府県の旅1 	<ul style="list-style-type: none"> ・分ける・くらべる(下) ・百科事典での調べ方 ・慣用句 ・短歌・俳句に親しもう(二) ・熟語の意味 ・つながらりに気をつけよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちがえやすい漢字 ・きせつのことば 春 ・きせつのことば 夏 ・きせつのことば 秋 ・季節の言葉 冬
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・つなげる・広げる ・図書館を使いこなそう ・漢字の成り立ち ・原因と結果 ・和語・漢語・外来語 ・目的に応じて引用するとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンジー博士の暗号読解 ・古典の世界(二) ・方言と共通語 ・複合語 ・伝わる表現を選ぼう ・日本語の表記 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の言葉 春 ・季節の言葉 夏 ・季節の言葉 秋 ・季節の言葉 冬
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの考え方、伝え方 ・地域の施設を活用しよう ・漢字の形と音・意味 ・主張と事例 ・話し言葉と書き言葉 ・文の組み立て 	<ul style="list-style-type: none"> ・カンジー博士の漢字学習の秘伝 ・漢字を正しく使えるように ・人を引きつける表現 ・仮名の由来 ・漢字を正しく使えるように ・人を引きつける表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の言葉 春 ・季節の言葉 夏 ・季節の言葉 秋 ・季節の言葉 冬

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 東書】(小学校 国語)

学年	c. 「思考力、判断力、表現力等」 「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		d. 「思考力、判断力、表現力等」 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		e. 「思考力、判断力、表現力等」読むこと」の文種別作品名と筆者名						
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等	説明的な文章を書く(調べたことを報告する・意見を述べる等)	実用的な文章を書く(日記、手紙や案内等)	文学的な文章を書く(短歌・俳句・詩・物語・随筆等)	説明的な文章	文学的な文章	詩歌 (詩)(俳句・短歌)	(古典) (漢詩・漢文を含む)	
第1学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなにばなそう ばなしたいなきたいな なにに見えるかな すきなきょうかは なあに 小学校のことをしようかいしよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> 質問・インタビュー等 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ぎいて つたえよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ことな こと したよ はつけんしたよ おもい出して かこう 一年かんを ぶりかえろう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> えにつきを かこう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばあそびうたを つくろう おはなしを かこう 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> さとう としお どう やって みをまもるのか ぼしめて よんだ ほん(かどのえいこ) いろいろな ふね 子どもを まもる どうぶつたち(なるしまえつお) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> とん こと どん(ぶしかえつこ) おおきな かぶ(うちだりざこ歌) かいがら(もりやまみやこ) サラダで げんき(かどのえいこ) おとうとねずみ チロ(もりやまみやこ) スイミー(レオ・レオニ) 	<p>詩歌</p> <ul style="list-style-type: none"> あめですよ(とよたかずひこ) あひるの あくび(まささちお) かぞえた あるけ あるけ(つるみまさお) おおきく なあれ(さかたひろお) ありがとう(しょうじけし) みみずの たいそう(かみざわとしこ) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> あめですよ(とよたかずひこ) あひるの あくび(まささちお) かぞえた あるけ あるけ(つるみまさお) おおきく なあれ(さかたひろお) ありがとう(しょうじけし) みみずの たいそう(かみざわとしこ) 	
第2学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ことばで 絵をつたえよう たからものを しようかいしよう すきな 場しよを 教えよう 	<p>外国の 小学校について 聞こう</p>	<p>すきな こと、なあに うれしくなる ことばを あつめよう</p>	<p>いつ あつめられるかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ことな ことを して いるよ かんさつした ことを 書こう あそび方を せつ明しよう 同じ ところ、ちがう ところ この 人を しようかい します ことばの アルバム」を作ろう 	<p>絵を見て お話を 書こう</p>	<p>風(ゆうびんやさん) (たけのこ ぐん(ぶしかえつこ))</p> <ul style="list-style-type: none"> 名前を 見て ちようだい(あまんきみこ) だいらほうのお話 やまたのおちの お話 いぬの 白うさぎの お話 ニャーゴ(みやにしたつや) お手紙(アーノルド=ローベル) かさじぞう(いわさききょうこ) 	<p>詩</p> <ul style="list-style-type: none"> たけのこ ぐん(ぶしかえつこ) いろいろな おとの あめ(きじだえりこ) 空に ぐうんと 手をのばせ(しんざわとしひこ) あまやどり(つるみまさお) いろは歌 				
第3学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> 話したいな、わたしのすきな時間 外国のことをしようかいしよう 	<p>外国の 小学校に ついて 聞こう</p>	<p>何をしているのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> グループの 合い言葉 をきめよう 	<p>くらべてみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べて書こう、わたしのレポート 自分の考えをつたえよう わたしのベストブックを作ろう 	<p>想どうを広げて物語を書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> 心が動いたことを詩で表そう 	<p>自然の かくし絵(矢島藤直子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ほげん(だより)を読みくらべよう 心の養分(茂市久美子) パラリンピックが目指すもの(藤田紀昭) 本をしようかいしよう 人をつつむ、形-世界の家めぐり-(小松義男) 	<p>詩</p> <ul style="list-style-type: none"> 春の子ども(門倉諒) たんぼぼ(川崎洋) いるか(谷川俊太郎) 紙ひこうき(神沢利子) 夕日がせなかを おしてくる(阪田寛夫) ほぐが ここに(まど・みちお) 赤とんぼ(三木露風) 俳句・短歌 【17】(小林一茶ほか) 				

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 東書】(小学校 国語)

学年	e. 「思考力、判断力、表現力等」 「読むこと」の文種別作品名と筆者名			
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等	説明的な文章を書く(調べたことを報告する・意見を述べる等)
第4学年	<p>説明・報告等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いてほしいな、心に残っている出来事 ・調べたことをほうこうしよう 	<p>質問・インタビュー等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たしかめながら話を聞こう 	<p>少人数・学級全体での話し合い等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もし、どうしたい ・学校についてしようか ・いすのことを考えよう 	<p>説明的な文章を書く(調べたことを報告する・意見を述べる等)</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループにまとめて整理しよう ・みんなで新聞を作ろう ・「ふるさと」の食」を伝えよう ・「言葉のタイムカプセル」を残そう
第5学年	<p>説明・報告等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい、心に残る言葉 ・資料を見て考えたことを話そう 	<p>質問・インタビュー等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことを聞き出そう 	<p>少人数・学級全体での話し合い等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この言葉、あなたならどう考える ・問題を解決するため話し合おう 	<p>説明的な文章を書く(調べたことを報告する・意見を述べる等)</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実と考えを区別しよう ・環境問題について報告しよう ・和の文化について調べよう ・反対の立場を考えて意見文を書こう ・「わたしの文章見本帳」を作ろう
第6学年	<p>説明・報告等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の未来をえがこう ・聞いてほしい、この思い 	<p>質問・インタビュー等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちよく対話を続けよう ・友達の見解を聞いて考えよう ・話し合っって考えを深めよう 	<p>少人数・学級全体での話し合い等</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果に着目しよう ・防災ポスターを作ろう ・世界に目を向けて意見文を書こう ・「卒業文集」を作ろう 	<p>説明的な文章を書く(調べたことを報告する・意見を述べる等)</p> <p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イースター島にはなぜ森林がないのか(鷲谷いつみ) ・インターネットの投稿を読み比べよう ・本がいざなう、もう一つの世界へ(上橋菜穂子) ・町の幸福論—コミュニティデザインを考える(山崎亮) ・昔の人からの手紙(中野貴文) ・プロフェッショナルたち(日野原重明)

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 学図】(小学校 国語)

学年	e. 「思考力, 判断力, 表現力等」 「読むこと」の文種別作品名と筆者名		
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等
第1学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともだちとはなそう ・えをみてはなそう ・きのうのこと ・はなしたくないな、なつやすみのこと ・ふゆ休みにしたよ 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぬりえゲーム」をしよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズ大会をしよう
	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章を書く(短歌・俳句・詩・物語等) ・「見て、きいて、ざわつて」 ・「音」をさがしておはなしづくり 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章を書く(日記、手紙や案内等) ・えにつきをかこう ・につきを かこう ・ありがとうをどけよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えにつきをかこう ・につきを かこう ・ありがとうをどけよう
第2学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめてよ、こんなこ ・どう 言えば いいかな ・がんばってよ、こんなこ ・こんなものがほしいなあ ・こんなあそびをしたよ 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめてよ、こんなこ 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たからさがしに ちようせん
	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章を書く(短歌・俳句・詩・物語等) ・「見て、きいて、ざわつて」 ・「音」をさがしておはなしづくり 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章を書く(日記、手紙や案内等) ・えにつきをかこう ・につきを かこう ・ありがとうをどけよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章を書く(日記、手紙や案内等) ・えにつきをかこう ・につきを かこう ・ありがとうをどけよう
第3学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しょうかいしよう、わたしのお気に入り ・ミキヤラーの解説委員になろう ・これはわたしにおまかせください ・遊びをくらべよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内放送を聞き取る 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスレクリエーションをしよう ・心をどけよう、受け止めよう
	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章を書く(短歌・俳句・詩・物語等) ・「見て、きいて、ざわつて」 ・「音」をさがしておはなしづくり 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章を書く(日記、手紙や案内等) ・えにつきをかこう ・につきを かこう ・ありがとうをどけよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな文章を書く(日記、手紙や案内等) ・えにつきをかこう ・につきを かこう ・ありがとうをどけよう

「別紙2-2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 学図】(小学校 国語)

学年	e. [思考力, 判断力, 表現力等] 「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		d [思考力, 判断力, 表現力等] 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		e. [思考力, 判断力, 表現力等]「読むこと」の文種別作品名と筆者名						
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等	説明的な文章を書く(調べたことを報告する・意見を述べる等)	実用的な文章を書く(日記, 手紙や案内等)	文学的な文章を書く(短歌・俳句・詩・物語・随筆等)	説明的な文章	文学的な文章	詩歌 (詩・俳句・短歌)	(古典) (漢詩・漢文を含む)	
第4学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけたよ、友達の良いところ ・こんなに成長したよ ・ドリームツリーを作ろう ・感謝の気持ちを話そう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモを取りながら聞く 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のいろいろな表情 ・安全マップを作って話し合おう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞を知ろう、作ろう ・見つけたことを新聞にまとめよう ・文化のちがいを調べよう ・文章のまとまりと分かりやすさ ・こんなアイデア、どうかな 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お礼状を書こう ・クラブのしようかいチラシを作ろう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心に残っていること ・これ、あなたも作家になれる 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメンボ(は)にん者か(日高敏隆) ・手で食べる、はしで食べる(森枝卓士) ・空飛ぶふろしき ムササビ(東昭) ・ムササビがくぐらす森(今泉吉晴) ・「落ち葉」ではなく「落ちえた」(高柳芳恵) ・身の回りのメディアを研究しよう ・さわっておどろく(広瀬浩二郎) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白いぼうし(あまんきみこ) ・ポレポレ(西村まり子) ・こんざつね(新美南吉) ・世界でいちばんやかましい音(ペンジャミン=エルケン) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春のうた(草野心平) ・かぼちゃのつるが(原田直友) ・ふしぎ(金子みすゞ) ・水平線(小泉周二) ・ほくが ここに(まど・みちお) 	<p>詩歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[俳句・短歌] ・[28](小林一茶ほか) 	<p>作品名(筆者名)</p>
第5学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を百倍するにしよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く人にインタビュー 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親しみを表現しよう ・より良い考え方はどっち? 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分だけのノートを作ろう ・文章の構成を知ろう ・どう考える?この投書 ・言葉について調べよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物を生き生きとえがき出そう ・俳句・短歌を作ろう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京スカイツリーのひみつ(浦井宏臣) ・わたしたちとメディア(池上彰) ・インターネット・コミュニケーション ・新聞の情報を読み取ろう ・勇気の花がひらくとき ・一やせたかしてアンパンマンの物語—(橋久美子) ・「一本」から見える数え方の世界(飯田朝子) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みちくさ(阿部夏丸) ・注文の多い料理店(宮沢賢治) ・ゆず(彰みき子) ・大造いさんとがん(椋鳩十) ・紙風船(黒田三郎) ・やしの実(島崎藤村) ・小さな質問(高階啓一) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日からはじまる(高丸とも子) ・レモン(は)ちよしこ) ・し(マーガレット)ワイス=プラワン) ・紙風船(黒田三郎) ・やしの実(島崎藤村) ・小さな質問(高階啓一) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[俳句・短歌] ・[10](正岡子規ほか) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇治拾遺物語 	
第6学年	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスプレイジョンをしよう ・ずいせんしんす、この委員会活動 ・日本の魅力、再発見 	<p>教材名</p>	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合ってまとめよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールで質問しよう ・文章構成の効果を考える ・筆者の提案を読み、意見文を書こう ・日本の魅力、再発見 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな表現の工夫 ・豊かに表現しよう ・自分を見つめてみよう 	<p>教材名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警約書(茂市久美子) ・きつねの窓(安房直子) ・服を着たゾウ(星新一) ・その日、ほくが考えたこと(重松清) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[詩] ・出発(井上靖) ・春の小川(高野辰之) ・卒業式(谷川俊太郎) ・夏は来ぬ(佐々木信綱) ・名づけられた葉(新川和江) ・きのうより一回だけ多く(川崎洋) ・土(三好達治) ・もみじ(高野辰之) ・冬景色 ・支度(黒田三郎) 	<p>作品名(筆者名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狂言 盆山 ・胡隠君を尋ぬ(高啓) 			

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教出】(小学校 国語)

学年	e. 「思考力、判断力、表現力等」 「書くこと」の言語活動別の主な単元名			d. 「思考力、判断力、表現力等」 「書くこと」の言語活動別の主な単元名			e. 「思考力、判断力、表現力等」 「読むこと」の文種別作品名と筆者名			
	説明・報告等 教材名	質問・インタビュー等 教材名	少人数・学級全体での話し合い等 教材名	説明的な文章を書く (調べたことを報告する・意見を述べる等) 教材名	実用的な文章を書く (日記、手紙や案内等) 教材名	文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語等) 教材名	説明的な文章 作品名(筆者名)	文学的な文章 作品名(筆者名)	詩歌 (詩)(俳句・短歌) 作品名(筆者名)	(古典) (漢詩・漢文を含む) 作品名(筆者名)
第1学年	<p>・みつけて はなそう、 たのしく きこう ・みんなに はなそう ・なつの おもいでを はなそう ・えを見ても おはなし しよう ・学校の ことを つた えあおう</p>	<p>・ひろい 公園</p>	<p>・「クラスお楽しみ会」を ひらこう</p>	<p>・よく みて かこう ・しらせたい ことを かこう ・たのしかった ことを かこう ・戻つたよ、いきもの の ひみつ ・「のりものカード」で しらせよう ・おもいで出の アルバ ム</p>	<p>・せんせい あのね ・えにつき ・ころ ほかほか 手 がみを かこう</p>	<p>・きこえて きたよ、こ んな ことば</p>	<p>・すずめの くらし ・たれが、たべたので しよう ・はたらく じどう車 ・つみへの ながい た び(いませよしもも) ・みふりて つたえる(の むらまさいち)</p>	<p>・まささんと ありさんの ごあいさつ ・けむりの きしや ・おおきな かぶ(うちだ りご歌) ・けんかした 山(あんど うみさお) ・スイミー(レオ＝レオ ニ) ・お手がみ(アールド ＝ローベル)</p>	<p>【詩】 ・あいうえおの うた(ま ど みちお) ・かぎぐげごの うた(ま ど みちお) ・きゃきゅきょの うた(ま ど みちお) ・ひろがる 青空 ・あめの うた(つるみま さお) ・ゆき(かわさきひろし)</p>	
第2学年	<p>・声の ものさしを つ かおう ・話したいな、聞きたい な、夏休みのこと ・むかしのあそびをせ つめいしよう</p>		<p>・「生きものクイズ」を 作ろう ・「かんざつ発見カード」 を 書こう ・町の「すてき」をつた えます ・おもしろいもの、見つ けたよ ・おもちゃのせつめい 書を 書こう ・こんなことが できるよ うになったよ</p>	<p>・つづけて みよう 一 日記</p>	<p>・すみれと あり(やざま よしこ) ・この間になにがあつ た? ・さげが 大きくなるまで ・「しかけ絵本」を作ろう</p>	<p>・「えいっ」(みきたく) ・きつねの おきやくさま (あまんきみこ) ・わにのおじいさんのた からもの(かわさきひろ し) ・ないた赤おに(はまだ ひろすけ) ・かさこじぞう(いわさき きよこ) ・アレクサンダとぜんま いね(すけしお＝レオニ)</p>	<p>【詩】 ・ひろがる わかば ・ちいさい おおきい(こ うやまよしこ) ・てんとつむし(かわさき ひろし) ・木(しみずたみこ) ・せかいじゅうの海が(み ずたにまさる歌)</p>			
第3学年	<p>・たからものをしようか いしよう ・町の行事について発 表しよう</p>	<p>・聞いてさがそう ・インタビューをしよう</p>	<p>・「じこしようかいペンゴ ゲーム」をしよう ・よく見て、話し合おう ・世界の人につたわる ように ・絵文字で表そう</p>	<p>・「発見ノート」を作ろう ・クラスの「生き物ブッ ク」を作ろう ・取材して知らせよう ・強く心にのこっている ことを</p>	<p>・手紙を書いてつたえ よう</p>	<p>・はたとしたことを詩に 書こう</p>	<p>・うめほしのはたらき めだか(杉浦宏) ・くらしと絵文字(太田幸 夫) ・川をさかのぼる知恵</p>	<p>・白い花ひら(やえがし なおこ) ・のらねこ(三木卓) ・わすれられないおくり もの(スーザン＝パーレ イ) ・モ子モ子の木(斎藤隆 介) ・おにたのぼうし(あまん きみこ)</p>	<p>【詩】 ・ひろがる 花ひら ・かえるのびよん(谷川 俊太郎) ・めだかの学校(茶木 滋) ・夕日がせなかをおして くる(阪田寛夫) ・いちばんぼし(まど・み ちお) 【俳句】 ・【14】(山崎早希子ほ か)</p>	

「別紙2-2」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 発行者 教出】(小学校 国語)

学年	e. 「思考力、判断力、表現力等」 「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		d. 「思考力、判断力、表現力等」 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		e. 「思考力、判断力、表現力等」 「読むこと」の文種別作品と筆者名				
	説明・報告等	質問・インタビュー等	少人数・学級全体での話し合い等	説明的な文章を書く (調べたことを報告する・意見を述べる等)	実用的な文章を書く (日記、手紙や案内等)	文学的な文章を書く (短歌、俳句、物語、随筆等)	説明的な文章 作品名(筆者名)	文学的な文章 作品名(筆者名)	詩歌 (詩)・俳句・短歌 作品名(筆者名)
第4学年	<p>・写真をもとに話そう</p> <p>・調べてわかったことを発表しよう</p>	<p>・わたしは、たあれ</p> <p>・メモの取り方をくふうして聞こう</p> <p>・「夏の思い出」記者になろう</p>	<p>・新スポーツを考えよう</p> <p>・身のまわりの「便利」なものを考えよう</p>	<p>・びっぴりの言葉、見つけよう</p> <p>・リフレットで知らせよう</p> <p>・「不思議ずかん」を作ろう</p> <p>・自分の成長をふり返って</p>	<p>・新聞を作ろう</p> <p>・いろいろな手紙を書こう</p>	<p>・「ショートショート」を書こう</p>	<p>・「白いぼうし(あまみきみこ)」</p> <p>・「一つの花(今西祐行)」</p> <p>・「ごんぎつね(新美南天)」</p> <p>・「木竜うるし(木下順二)」</p> <p>・「いろいろな詩(ジュールニルナール)」</p> <p>・「おおきな木(島田陽子)」</p> <p>・「とびばこだんだん(藤智生)」</p> <p>・「雪(文部省唱歌)」</p> <p>・「積つた雪(金子みすず)」</p> <p>・「俳句・短歌」</p> <p>・「[11] 持統天皇ほか」</p>	<p>・「詩」</p> <p>・「ひろがる つばさ」</p> <p>・「水平線(小泉周二)」</p> <p>・「うぐいす(武蔵野子)」</p> <p>・「素朴な琴(八木重吉)」</p> <p>・「鳴く虫(高橋克吉)」</p> <p>・「山のあなただ(カール=ブツセ)」</p> <p>・「はたはたのうた(室生犀星)」</p> <p>・「雪(三好達治)」</p> <p>・「大漁(金子みすず)」</p> <p>・「わたしと小鳥とすずと(金子みすず)」</p> <p>・「俳句・短歌」</p> <p>・「[4] (山口素堂ほか)」</p>	<p>・「春曉(孟浩然)」</p> <p>・「静夜思(李白)」</p> <p>・「論語」</p> <p>・「大雲」</p> <p>・「竹取物語」</p> <p>・「平家物語」</p> <p>・「伊弉保物語」</p>
第5学年	<p>・「町じまん」をすいせししよう</p> <p>・「ひみつを調べて発表しよう」</p>	<p>・「情報ノート」を作ろう</p> <p>・「世界遺産 白神山地帯」の提言―意見文を書こう―</p> <p>・「提案文を書こう」</p>	<p>・わたしは木</p> <p>・AIとのくらし</p>	<p>・「情報ノート」を作ろう</p> <p>・「世界遺産 白神山地帯」の提言―意見文を書こう―</p> <p>・「提案文を書こう」</p>	<p>・「人どねずみの「はい、チーズ！」(佐藤雅彦)」</p> <p>・「言葉と事実(福沢寛亮)」</p> <p>・「世界遺産 白神山地帯」の提言―意見文を書こう―(斎藤宗勝)</p> <p>・「白神山地の自然保護―「緩衝地域」の役割―(牧田肇)」</p> <p>・「まんがの方法(石田佐恵子)」</p>	<p>・「いつか、大切なところ(魚住直子)」</p> <p>・「木造いざよとがん(植嶋十)」</p> <p>・「雪わたり(宮沢賢治)」</p> <p>・「みずさしがしの旅―みんななちがって、みんなない(矢崎節夫)」</p>	<p>・「雪は新しいエネルギー(堀山政良)」</p> <p>・「あなたはどど感じる?」</p> <p>・「ぼくの世界、君の世界(西研)」</p> <p>・「伊能忠敬(国松俊英)」</p>	<p>・「あゝ坂をのぼれば(杉みき子)」</p> <p>・「薫風(黛まどか)」</p> <p>・「「迷う」(日高敏隆)」</p> <p>・「川とリリオ(いぬいとみこ)」</p> <p>・「きつねの窓(安房直子)」</p>	<p>・「枕草子(清少納言)」</p> <p>・「万葉集」</p> <p>・「坊ちゃん(夏目漱石)」</p> <p>・「杜子春(芥川龍之介)」</p>
第6学年	<p>・「自分に質問してみよう」</p>	<p>・「教えて！あなたのとっておき」</p>	<p>・地域の防災について話し合おう</p> <p>・「うれしさ」って何?―哲学対話をしよう</p> <p>・「書評を書いて話し合おう」</p> <p>・「言葉と私たち」</p> <p>・「ひろがる言葉」</p>	<p>・「パンフレットで知らせよう」</p> <p>・「図に表わして考えよう」</p> <p>・「自分の考えを楽極しよう」</p> <p>・「書評を書いて話し合おう」</p> <p>・「ひろがる言葉」</p>	<p>・「随筆を書こう」</p> <p>・「物語を作ろう」</p> <p>・「言葉と私たち」</p>	<p>・「雪は新しいエネルギー(堀山政良)」</p> <p>・「あなたはどど感じる?」</p> <p>・「ぼくの世界、君の世界(西研)」</p> <p>・「伊能忠敬(国松俊英)」</p>	<p>・「あゝ坂をのぼれば(杉みき子)」</p> <p>・「薫風(黛まどか)」</p> <p>・「「迷う」(日高敏隆)」</p> <p>・「川とリリオ(いぬいとみこ)」</p> <p>・「きつねの窓(安房直子)」</p>	<p>・「枕草子(清少納言)」</p> <p>・「万葉集」</p> <p>・「坊ちゃん(夏目漱石)」</p> <p>・「杜子春(芥川龍之介)」</p>	

「別紙2-2」【(1)内容イ 調査項目の具体的な内容 発行者 光村】(小学校 国語)

学年	「思考力、判断力、表現力等」 「話すこと・聞くこと」の言語活動別の主な単元名		「思考力、判断力、表現力等」 「書くこと」の言語活動別の主な単元名		「思考力、判断力、表現力等」 「読むこと」の文種別作品名と筆者名		
	説明・報告等 教材名	質問・インタビュー等 教材名	少人数・学級全体での 話し合い等 教材名	説明的な文章を書く (脚べたことを報告する、意見 を述べる等) 教材名	実用的な文章を書く (日記、手紙や案内等) 教材名	文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等) 教材名	
第4学年	<p>説明・報告等 教材名</p> <p>・調べて話そう、生活調査 隊</p>	<p>質問・インタビュー等 教材名</p> <p>・聞き取りメモのくふう</p>	<p>少人数・学級全体での 話し合い等 教材名</p> <p>・こんなことが同じだね ・あなたなら、どう言う ・クラスみんなで決めるには</p>	<p>説明的な文章を書く (脚べたことを報告する、意見 を述べる等) 教材名</p> <p>・新聞を作ろう ・世界にほこる和紙 ・もしものときこそ伝えよう</p>	<p>実用的な文章を書く (日記、手紙や案内等) 教材名</p> <p>・お礼の気持ちを伝えよう</p>	<p>文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等) 教材名</p> <p>・感動を言葉に</p>	<p>「思考力、判断力、表現力等」 「話すこと・聞くこと」の文種別作品名と筆者名</p> <p>。 [思考力、判断力、表現力等]「読むこと」の文種別作品名と筆者名</p>
第5学年	<p>説明・報告等 教材名</p> <p>・提案しよう、言葉とわたし たち</p>	<p>質問・インタビュー等 教材名</p> <p>・きいて、きいて、きいてみ よう</p>	<p>少人数・学級全体での 話し合い等 教材名</p> <p>・教えて、あなたのこと ・どちらを選びますか ・よりよい学校生活のため に</p>	<p>説明的な文章を書く (脚べたことを報告する、意見 を述べる等) 教材名</p> <p>・みんなが過ごしやすい街 へ ・グラフや表を用いて書こう ・あなたは、どう考える この本、おすすすめします</p>	<p>実用的な文章を書く (日記、手紙や案内等) 教材名</p> <p>・お礼の気持ちを伝えよう</p>	<p>文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等) 教材名</p> <p>・日常を十七音で</p>	<p>「思考力、判断力、表現力等」 「話すこと・聞くこと」の文種別作品名と筆者名</p> <p>。 [思考力、判断力、表現力等]「読むこと」の文種別作品名と筆者名</p>
第6学年	<p>説明・報告等 教材名</p> <p>・今、私は、ほくは</p>	<p>質問・インタビュー等 教材名</p> <p>・きいて、きいて、きいてみ よう</p>	<p>少人数・学級全体での 話し合い等 教材名</p> <p>・つないで、つないで、一つ のお話 ・聞いて、考えを深めよう ・いちばん大事なものは ・みんなで大騒ぎしよう ・みんなで大騒ぎしよう</p>	<p>説明的な文章を書く (脚べたことを報告する、意見 を述べる等) 教材名</p> <p>・私たちにできること ・日本文化を発信しよう ・大切にしたい言葉 ・思い出を言葉に</p>	<p>実用的な文章を書く (日記、手紙や案内等) 教材名</p> <p>・お礼の気持ちを伝えよう</p>	<p>文学的な文章を書く (短歌・俳句・詩・物語・随筆等) 教材名</p> <p>・たのしみは</p>	<p>「思考力、判断力、表現力等」 「話すこと・聞くこと」の文種別作品名と筆者名</p> <p>。 [思考力、判断力、表現力等]「読むこと」の文種別作品名と筆者名</p>

発行者名	「教材名」	【掲載方法】	記述の概要(学年以上／下 掲載ページ)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ・むかしばなしをたのしもう ・花さかじいさん ・言いつたえられてるお話を知ろう ・かさこじぞう ・おばあちゃんに聞いたよ ・ないた赤おに 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、イラスト、絵本 ・本文、イラスト、絵本 ・本文、イラスト ・本文、イラスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている昔話を絵の中からさがす(1年下P88) ・「花さかじいさん」の内容(1年下P142) ・「だいたいらぼう」「やまたのおろちの」「いなばの白うさぎ」の内容の一部(2年上P96) ・「かさこじぞう」の内容(2年下P79) ・昔から伝わるいろいろな言い方(十二支・小の月・いろは歌・いろはかるた・きょう土かるた)(2年下P100) ・「ないた赤おに」の内容(2年下P146)
学図	<ul style="list-style-type: none"> ・さるじぞう ・おんちよろちよろ ・ヤマタノオロチ ・かさこじぞう 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、イラスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・「さるじぞう」の内容(1年上P146P) ・「おんちよろちよろ」の内容(1年下P112) ・「ヤマタノオロチ」の内容(2年上P112) ・「かさこじぞう」の内容(2年下P54)
教出	<ul style="list-style-type: none"> ・天に のぼった おげやさん ・いなばの しろうさぎ ・ないた赤おに ・かさこじぞう ・むかしの お話を 読もう ・伝えられてきた 作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、絵本 ・本文、写真 	<ul style="list-style-type: none"> ・「天にのぼったおげやさん」の内容(1年下P56・P144) ・「いなばのしろうさぎ」の内容(2年上P86・P134) ・「ないた赤おに」の内容(2年下P25) ・「かさこじぞう」の内容(2年下P77) ・「はじめての古事記」等、絵本の紹介(2年下P146) ・「アイヌ神謡集」「おもしろそうし」の内容の一部(6年下P130)
光村	<ul style="list-style-type: none"> ・おむすび ころりん ・むかしばなしを よもう ・わらしべちようじや ・たぬきの 糸車 ・いなばの 白うさぎ ・せかいーの話 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文、イラスト ・本文、イラスト、絵本 ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、イラスト ・本文、イラスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・「おむすびころりん」の内容(1年上P86) ・昔話の絵本の紹介(1年下P42) ・「わらしべちようじや」の内容(1年下P62・P126) ・「たぬきの糸車」の内容(1年下P74) ・「いなばの白うさぎ」の内容(2年上P38・P144) ・「世界一の話」の内容(2年下P52・P142)

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(小学校 国語)

項目	ア 巻末資料		イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	ウ ユニバーサルデザインの視点	エ デジタルコンテンツの扱い	オ その他
	漢字のページ数	その他の数(漢字以外)の数				
発行者			<ul style="list-style-type: none"> 冒頭で、当該学年で身に付けさせたい言葉の力を「〇年で学習する言葉の力」として、当該学年の国語の学習で付けた力を領域別にまとめている。 冒頭で、「国語の学習の進め方」を示すとともに、各単元では、「つかむ」、学習を進める、「ふり返る」という学習過程を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードがあり、インターネットで資料を見ることができ。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年から第4学年までは、上・下巻の2分冊となっている。第5学年から第6学年は年間1冊となっている。 第一教材(第1学年の最初に出合う教材)及び入門期に該当する教材は、26ページ扱っている。 教材とは別に紹介している図書の点数は、第1学年・第2学年184冊、第3学年・第4学年164冊、第5学年・第6学年176冊、合計524冊である。
東書	139	168	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の冒頭で、「〇年生でつきたい力」として、当該学年の国語の学習で付けた力を領域別にまとめている。 第3学年以上の冒頭では、「つかむ」「見方や考え方を学ぶ」「まとめる・ふり返る」「広げる」という学習過程を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードがあり、インターネットコンテンツを利用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年から第6学年まで、上・下巻の2分冊となっている。 第一教材(第1学年の最初に出合う教材)及び入門期に該当する教材は、22ページ扱っている。 教材とは別に紹介している図書の点数は、第1学年・第2学年123冊、第3学年・第4学年163冊、第5学年・第6学年168冊、合計454冊である。
学図	127	210	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の冒頭で、「〇年生で学ぶこと」というページを設定し、1年間の学習の見通しを領域別に示している。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では最初に学習の進め方を、「読むこと」の単元では、「1 確(た)かめよう」「2 考えよう」「3 深めよう」「4 広げよう」という学習過程を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学びリンク」があり、当該学習の内容をインターネット上で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年から第6学年まで、上・下巻の2分冊となっている。 第一教材(第1学年の最初に出合う教材)及び第1学年の入門期に該当する教材は、24ページ扱っている。 教材とは別に紹介している図書の点数は、第1学年・第2学年146冊、第3学年・第4学年155冊、第5学年・第6学年143冊、合計444冊である。
教出	160	222	<ul style="list-style-type: none"> 第2学年以上では、冒頭で「〇年生で学習すること」というページを設定し、1年間の学習の見通しを領域別に示している。 第2学年以上では、冒頭で、「初めに」「読む、書く、話す・聞く」「ふりかえる」「学習や生活にいかす」という学習の進め方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントを採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次元コードがあり、インターネット上に関連する学習内容を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年から第4学年までは、上・下巻の2分冊となっている。第5学年から第6学年は年間1冊となっている。 第一教材(第1学年の最初に出合う教材)及び第1学年の入門期に該当する教材は、26ページ扱っている。 教材とは別に紹介している図書の点数は、第1学年・第2学年129冊、第3学年・第4学年174冊、第5学年・第6学年172冊、合計475冊である。
光村	93	221				
平均値	103.8	164.2				